



南 港



創立 明治8(1875)年2月12日

〒010-0511

男鹿市船川港船川字漆畑36番地1

男鹿市立船川第一小学校

TEL 0185-24-3231

FAX 0185-24-3232

E-mail : funaichi@namahage.ne.jp

<https://edu.city.oga.akita.jp/funaichi-es/>

前期後半のスタートです！ 感謝の気持ちを大切に!!

校長 松田 万寿雄

パリオリンピックが終幕し、この学校報「南港」がお手元に届いているときには、パリパラリンピックが大いに盛り上がっていることと思います。パリオリンピックでは、様々な競技・種目において日本選手が大活躍する姿を見ることができました。オリンピックに出場した各選手は、目標をしっかりともち、実現のためにたゆまぬ努力を重ねてきたに違いありません。また、競技後のインタビューでは、全員共通して、サポートしてくれたスタッフへの感謝、家族への感謝、応援してくれた人々への感謝の気持ちを述べていました。その感謝の気持ちはテレビを通してもしっかりと伝わってくるものでした。

本校の全校児童を対象に7月にアンケートを実施したところ「自分の夢や将来なりたいものがある」という設問に対して肯定的回答が93.2%でした。続けて「自分の夢や将来なりたいもののために努力している」の肯定的回答も93.2パーセントでした。また、「『ありがとう』の言葉を言うなど、友達や先生と思いやりの心で接している」という設問に対して肯定的に回答した児童の割合が95.8%でした。この結果から本校の児童のほとんどが将来の夢や目標をもち、夢の実現のためにがんばっていることが分かります。自分の夢や将来なりたいものがなかなか決められない児童もいますが、自分の夢や将来なりたいものを考えることもとても大切なことです。将来の夢や目標が変更しても構いません。将来のビジョンを考え、実現に向けてコツコツと粘り強くがんばるくじらっこになってほしいと思います。さらに、本校の児童は、感謝の気持ちをもって友達や先生と活動していることも分かります。人と関わっていくうえで、他者への尊敬や感謝の気持ちをもつことは、とても大切なことです。

ニューヨーク州立大学のステファニー・ブラウン准教授は、利他的な行動と長寿には相関があると述べています。自己の名声など自己中心的な目的での人助けでは、長寿の可能性は上がらない一方、見返りを期待せず人助けをすることで長寿の可能性は上がるというのです。感謝の科学の第一人者と言われているカリフォルニア大学のロバート・エモンズ教授は、「感謝をする人ほど、免疫力や痛みへの耐性が強く、血圧が低い。ポジティブで生きがいや喜びを感じやすく、幸福感も高い。親切で寛大、社会的で孤独になりにくい」とまで言っています。つまり、「ありがとう」の心は、感謝の気持ちをもつ側の人の身体、精神、社会性など様々な面で良い効果をもたらすということです。

本校の児童たちも、家庭、地域、学校への感謝の気持ちをもって行動することで、より大きく成長できるのではないかと思います。そのためにも、日頃から我々大人が率先して、他者への感謝の気持ちを示している姿を子どもたちに見せていきたいものです。今後も引き続き、保護者の皆様、地域の方々の温かいご支援とご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

【全国学力・学習状況調査の結果について】

6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果の概要をお知らせいたします。

調査の目的は、以下に示されているとおりです。本校においても、今回の結果を分析、考察し、授業改善につなげていきたいと思っております。

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【国語】

- ・本校6年児童の国語科全体の正答率は、秋田県の平均正答率をやや下回りましたが、全国平均とほぼ同じでした。
 - ・「書くこと」「読むこと」の問題については、県平均を下回りましたが、全国平均を上回りました。「話すこと・聞くこと」の問題は、県平均、全国平均をともに下回る結果となりました。
 - ・記述式の問題の正答率は、全国平均を10ポイント以上上回り、県平均と同じ正答率でした。
 - ・漢字の書き取りの正答率が、県平均と全国平均の正答率を大きく下回りました。
- ☆漢字の学習については、繰り返し練習するとともに、意味や使い方などについても丁寧に学習を進めていきたいと思っております。また、毎日の授業の中で、話合いの話題から逸れないように伝えることや自分の考えを相手に分かりやすく表現できるようにする力を育てていきたいと思っております。

【算数】

- ・本校6年児童の算数科全体の正答率は、県平均と全国平均の正答率をともに上回りました。
 - ・「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」の全ての領域で、全国平均を上回りました。県平均と比較すると、ほぼ同程度又は上回る結果となりました。しかしながら、「道のりと速さ」の関係を問うような「変化と関係」の領域の問題は、県平均と全国平均を上回ってはいますが、本校を含めて全国的に正答率が低い結果でした。
 - ・記述式の問題の正答率は、県平均と全国平均をともに上回りましたが、本校を含めて全国的に正答率が低かったです。
- ☆問題の意味をしっかりと理解すること（何を問われているのか）や、順序立てて分かりやすく書いたり、友達に説明したりする力を育てていきたいと思っております。

くじらっこの活躍

☆第65回全県児童・生徒席書大会

金賞 3年 ○○ ○

☆令和6年度男鹿市・潟上市・南秋田郡児童生徒席書大会

【硬筆の部】

優秀賞 1年 ○○ ○、○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○
○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○
2年 ○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○
○○○○○、○○ ○○

【毛筆の部（半紙）】

特賞 3年 ○○ ○（全県席書大会出場）
金賞 4年 ○○○○○
6年 ○○ ○○
銅賞 3年 ○○ ○
4年 ○○ ○、○○ ○、○○ ○、○○ ○○
○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○、○○ ○○
6年 ○○ ○○

【毛筆の部（条幅）】

金賞 3年 ○○ ○
銀賞 4年 ○○○○○